

記者の目

「ゴーストに会えたのかな」。東北新幹線「やまびこ」の窓から、夜空の下に広がる一面の銀世界を眺めながら、ふとそう思った。十日から四日間、岩手県盛岡市で開かれた日教組、日高教主権の教育研究全国集会の取材から帰る途中のことだ。岩手が生んだ詩人、宮沢賢治の童話に登場するあの「ゼロ弾きのゴースト」は、カッコウやネズミな



池田 知隆
(教育取材班)

どの動物たちに「学び」ながら自分音楽を豊かにした。その岩手に集まった教師たちは、自たちや学校を問い直しながら、子供や父母に連れ合っとうとうという兆しが、わずかながらも広がりはじめていると思えたのだ。平和教育を掲げた昨年の広島教研のような派手さはなかったが、岩手教研の地味な議論の中で、なかなか光が見えた。

意識も「起こってはいけなことが起きた」から「起こるべくして起きた」に変わってきた。非行の低年齢化も、来るべきものが来たな、と冷静に受け止めるようになった。

地域との関係

また学校と地域について石川県輪島市の中学校の女教師は「地域の教育力が失われた、と嘆く前に、学校そのものがそれを破壊していないか」と発言した。

子供が見えるか

三年前、高知教研を初めて取材したとき、教研、教師に失望し、うんざりした思いがある。全国の各地域、都道府県で「選抜」されて集まってきた教育実践報告、どこか格好よすぎ、逆に子供が見えてない、という気がしたから

方も、討論の流れを無視し、まるで頭の中でテープレコーダーを回すかのように、一方的に実践報告する教師が目立っていた。いったい、どうしてなのか。いくぶんいらだちながら、当時の「記者の目」でこう書いた。

悩みを率直に

ところが、今回の岩手教研では、印象がちょっと違っていた。取材する目が甘すぎるか、もしくは、教師たちがわは破れる。子供に学ぶ姿勢を、力か押さえつづけたと結

また学校と地域について石川県輪島市の中学校の女教師は「地域の教育力が失われた、と嘆く前に、学校そのものがそれを破壊していないか」と発言した。

だが、教師を取り巻く情勢は依然として厳しい。日教組の組織率は五〇・六〇％で、まして教育実践に情熱をもち、教師は限られている。同分科会で報告された千葉県教組の調査では、「なぜ非行が起きたか」という問いで「家庭のしつけ」と答えたのが五・四％、「社会環境の悪化

光が見えた教研集会

「ゼロ弾きのゴースト」のように

触れ合い学ぶ姿勢で

希望と誠実と

帰りの新幹線の車中、ある分科会で耳にした詩の一節を思い出した。

「教えることは希望を語ること。学ぶとは、誠実を胸に刻むこと」

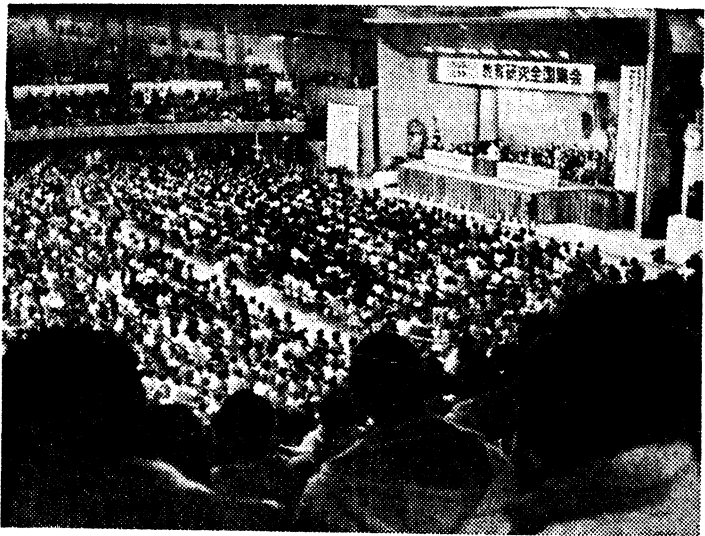
「時代の先が見えない」と日教組幹部は嘆く。だからこそ、教師はまず「希望」を語り、まず「教師としてのあたりまえの役割」「生き生きとした学校づくり」に目を注ぎ、一人でも多く「ゴースト」になっ

本質的な問い

平和教育、社会科教育の分科会でも地味だが、議論の質は高まった。これまで、原爆記録映画を上映したりして

「戦争の悲惨さを知らせる」

「校内暴力について教師の



全国から1万人の先生が集まり熱っぽい議論がかわされた教研集会(盛岡市で)

自らを問い直す論議ふえ

「ゴーストに会えたのかな」。東北新幹線「やまびこ」の窓から、夜空の下に広がる一面の銀世界を眺めながら、ふとそう思った。十日から四日間、岩手県盛岡市で開かれた日教組、日高教主権の教育研究全国集会の取材から帰る途中のことだ。岩手が生んだ詩人、宮沢賢治の童話に登場するあの「ゼロ弾きのゴースト」は、カッコウやネズミな

方も、討論の流れを無視し、まるで頭の中でテープレコーダーを回すかのように、一方的に実践報告する教師が目立っていた。いったい、どうしてなのか。いくぶんいらだちながら、当時の「記者の目」でこう書いた。

ところが、今回の岩手教研では、印象がちょっと違っていた。取材する目が甘すぎるか、もしくは、教師たちがわは破れる。子供に学ぶ姿勢を、力か押さえつづけたと結

また学校と地域について石川県輪島市の中学校の女教師は「地域の教育力が失われた、と嘆く前に、学校そのものがそれを破壊していないか」と発言した。

だが、教師を取り巻く情勢は依然として厳しい。日教組の組織率は五〇・六〇％で、まして教育実践に情熱をもち、教師は限られている。同分科会で報告された千葉県教組の調査では、「なぜ非行が起きたか」という問いで「家庭のしつけ」と答えたのが五・四％、「社会環境の悪化

「戦争の悲惨さを知らせる」

「時代の先が見えない」と日教組幹部は嘆く。だからこそ、教師はまず「希望」を語り、まず「教師としてのあたりまえの役割」「生き生きとした学校づくり」に目を注ぎ、一人でも多く「ゴースト」になっ

「意見がありましたら住所、氏名、職業、年齢を明記(記者の目です)」〒100 東京都千代田区一ツ橋一の一、毎日新聞社内へお寄せください。